

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立高齢者在宅サービスセンター港南の郷									
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会									
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日									
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	－			
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課									

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	5	3	2	6	0	6	0	11
	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	2	4						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
延利用者数（人）	6,043	5,233				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	78,973,994	76,587,060	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	17,078,036	17,755,118				
	利用料金収入	61,639,219	54,567,569				
	その他収入	256,739	4,264,373				その他の収益、サービス活動外収益、特別収益
	支出	80,232,725	77,591,473	0	0	0	
	職員人件費	17,105,215	40,911,816				
	光熱水費	4,051,817	3,487,846				
	修繕費	593,512	2,579,541				
	事業運営費	38,604,432	5,887,052				
	施設管理経費	19,674,361	20,830,104				
	その他経費	203,388	3,895,114				
	差引収支額	-1,258,731	-1,004,413	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		25,900,472	30,640,821				

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						80 / 90

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	地域から信頼される施設を目指し、前年度に比べ、ケアマネ事業者との連携に努めました。サービス面では、利用者ニーズに合わせた選択制プログラムの提供を行いました。リハビリでは個別機能訓練等自立支援に取り組みました。 課題として、長年施設を利用していた多数の利用者が特養に入所するなど、コロナ禍が終息しても利用率は回復していません。そのため、今後は他のデイサービスセンターで受入できない利用者も受入られる体制を整えていきます。 一方で、経費の節減により「サービスの質」を落とすことなく経営基盤の安定に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、安心して利用できる体制を整えることができました。今後も同一法人の提携病院と併設の特養との連携により、医療処置の必要な利用者を受入れ、少しでも長く在宅生活が送れるようサービスを提供していきます。
区（施設所管課）による評価	指定管理者として、適正な管理・運営を実践しています。施設内の修繕箇所や利用者状況の報告など、区と指定管理者で密な連携をとることができています。次年度以降は、区のみならず、提携病院や特養との連携を強化し、利用率および利用者の満足度向上を目指していくとともに、引き続き、地域の拠点として、区民に必要とされるサービスを安定して提供していくよう、区も助言・支援していきます。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）